

寺本紙器株式会社



会社紹介

「地域産業に貢献する」がモットーの紙器製造業会社
トータルサポートで顧客の要望をかなえる受注生産が自慢



専務取締役 寺本 忠司

段ボールや白ボール、台紙などの紙器を製造する「寺本紙器」。バラエティーに富んだ紙材料を取りそろえ、サイズ加工や印字・プリント、小ロット・短納期などトータルサポート体制で、顧客の要望に合わせたオーダーメイドの紙製品を生み出している。和歌山全域から大阪南部、奈良県など、関西地区を中心に受注生産。特に地元橋本市や周辺の伊都郡、奈良県五條市を主戦場に、「地域産業に貢献する」をモットーにした事業を展開している。

令和元年度わかやま地場産業ブランド力強化支援事業に、「『ダンボール×デザイン什器』をテーマにした新ブランド開発」を題材に応募し、採択事業者の一つに選出された。

補助事業

新パッケージと紙製家具 2つの取り組みに挑戦

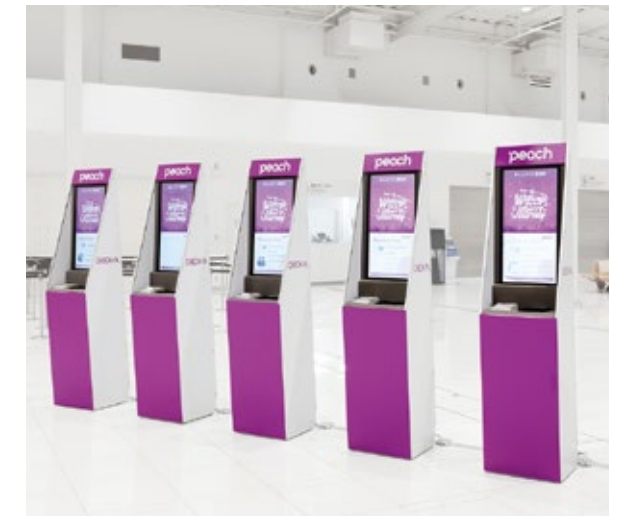
同社の顧客は地域的に柿やブドウ、キウイ、地酒などの地場製品の生産者が多い。製品の化粧箱を一度に大量に作る傾向にあり、長年にわたって同じデザインのものを使わざるを得ない状況が見受けられる。今回の事業では、製品のイメージを時代に合わせて変化できるよう、小ロットで低価格のパッケージを提供することが目的の一つだ。もう一つは、幼児玩具販売会社や木製家具等販売会社から、紙製家具の開発要望が多数あり、防災時の利用などの観点からも有望な市場と考え、新規事業として着手することを決意。この2つの取り組みを実現させるために、同補助事業を使って、UVインクジェット印刷機とカッティングマシンの2機を導入し、新たな販売活路を見いだす。



成果

同補助事業の新機械装置導入により 既存の生産機による問題がすべて解消

同補助事業に取り組む前の課題に、「美粧プリント（イラスト印刷・写真印刷）」「多品種小ロット対応」「曲線加工（Vカット・ミーリング）」「コストダウン対応」が挙げられていた。導入したフラットベッド型UVインクジェット印刷機は、大判プリンタに求められる2大要素であるスピードと画質を高次元で両立でき、小ロット生産機として活用している。カッティングマシンに関しては、専用高機能CADと組み合わせることにより、簡単操作、時間短縮、型不要、正確な寸法合わせ、小口受注に迅速対応など多くのメリットが生じ、前述した課題がすべて解消。その結果、他社と比べて、提案力・商品力に優位性が出てきた。また、一般段ボール、プラスチック製段ボール、三層段ボール、ハニカム段ボール、60mmまでの発泡剤など、さまざまな素材を加工できるようになった。



今後の展開

きめ細やかな広報活動を展開 商品企画力と提案力を強化

顧客にとって投資収益率のよい小ロット化粧ケースの長所を理解してもらえるような広報活動を展開。その上で多くの成功事例を積み重ねていく意向だ。紙製家具に関しては、木製家具等販売会社の協力で試作品を作った経験を生かし、商品企画力と提案力を強化する。また、軽量で安全性が高い面から、福祉施設等への導入も検討するなど、同社の主要商品になることを目指す。

会社概要

会社名	寺本紙器株式会社
代表者	代表取締役 寺本 忠行
所在地	和歌山県橋本市高野口町名古曾1078
資本金	1,000万円
従業員数	19名
業種	段ボール製造、白ボール・台紙など紙器製造業
設立年月日	昭和18年
TEL	0736-42-2028
FAX	0736-42-0122
E-MAIL	info@terachu.com
URL	http://www.teramotoshiki.com